

研究シーズのタイトル

コンピュータを用いたソーシャルワーク支援ツールの開発

研究者名

河野 高志

所属

人間社会学部

研究シーズの専門分野

ソーシャルワーク, 社会福祉

研究シーズのキーワード

ソーシャルワーク, 現任教育, 研修, アセスメント, スーパービジョン

研究シーズの概要

他大学の研究者との共同研究によって、コンピュータを用いたソーシャルワーク支援ツールを20年以上にわたって研究・開発しています。すでに教育支援ツールとしての成果は2005年に刊行しており（太田義弘・中村佐織他編著（2005）『ソーシャルワークと生活支援方法のトレーニング 利用者参加へのコンピュータ支援』中央法規）、現在は実践支援ツールの開発に取り組んでいます。クラウドを利用したシステムを構築し、データの収集と分析からより効果的なアセスメント方法を検証中です。今後は統計的解析やAIの導入などを視野に入れて、科学的なソーシャルワークの展開方法を確立していきたいと考えています。

研究シーズの適用分野

ソーシャルワークは価値や倫理に基づく一種の理念的な実践ですが、一方で人々の生活状況や社会環境を客観的・科学的に把握・分析して介入する専門的行為でもあります。我々の研究は、ソーシャルワークの価値と倫理を大前提に、人と環境の相互作用とその変容を捉えるエコシステム理論を具現化するために、人々の生活に関わる膨大な情報をコンピュータを用いて分析しようと試みるものです。そのため、研究の適用分野としては、相談支援機関におけるアセスメントの向上や現任ソーシャルワーカーの教育・研修、子ども・障害者・高齢者の虐待発見ツールの開発など多岐にわたると考えます。

共同研究が期待される外部機関

社会福祉施設、医療機関、IT関連企業